

( 様式 )

## 第 5 回かわにし市民会議 議事メモ

|            |  |
|------------|--|
| 班          | 5 班「やりがいの持てる地域活動の促進」                     |
| コーディネーター   | 伴 幸俊                                     |
| ナビゲーター     | なし                                       |
| 説明担当者(自治体) | なし                                       |
| 日時         | 2019 年 9 月 14 日(土) 13 時 00 分から 16 時 00 分 |
| 場所         | 川西役所 2 階 202 会議室                         |
| その他        | 参加者数 16 名                                |

### 趣旨・概要

提案書案の説明及び提案書についての意見交換

### 総括

班発表者総括

特になし

コーディネーター総括

みなさんのおかげで非常にいい会議になったと思います。今回の依頼があるまで、川西市のことは正直知らなかったが、とてもいいところだと感じました。次回は、班ごとではなく、全体会の場で、市から総合戦略を説明する場だと聞いている。引き続きよろしくお願ひします。

### 協議の流れ

#### 1 提案書(案)の説明(部会員より説明)及び提案書についての意見交換

【提案 1】地域での交流や活動の場としての様々な地域コミュニティの活動目的などを明確にし、誰もが積極的に参加したくなる環境をつくる

#### 【提案内容】

市)・今までの市民会議の中で自治会やコミュニティの話がたくさん出た。

- ・自治会加入率がこの 10 年間で 1 割以上低下し、地域交流・活動の場がなくなってきている。
- ・自治会の必要性や活動内容が地域に十分理解されていないという現状がある。
- ・自治会などの地域コミュニティの目的や意義を地域住民みなさんが考え、明確にし、誰もが参加したくなる環境をつくる。

#### 【具体的な施策提案】

市)・課題として、自治会やコミュニティの必要性が十分に理解されていない。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

- ・地域活動のあり方をみんなで考え、見直していくという提案をしてみてもどうか。
- ・具体的には、地域の住民が集まりワークショップを開催する。そこで自治会・コミュニティのあり方やもし自治会がなかったならば生活がどうなるのかを考える。
- ・それをふまえ、自治会・コミュニティは取り組み内容を精査する。
- ・外部団体（ボランティア・NPO・民間事業者・高校・大学）に地域活動参加を促す。例えば、清掃ボランティアや通学路見守りなど、外部の力を借りてできることはあると思う。
- ・行政は地域活動の発表の場を提供する。例えば、優良事例に対しては交付金を増額するなどといった手法もある。

#### 【提案書についての意見交換】

- コ) この提案は地域というテーマで議論するにあたり、ベーシックなものなので皆さんの意見が聞きたい。
- 参) 自治会の必要性はみなさんが疑問に思っていることだと思う。自治会に入った場合のメリット・自治会に入らなかった場合のデメリットが書かれた資料を転入時に配布してほしい。
- 具体的な施策提案について自治会・コミュニティの在り方を考えた後、代表者が集まる場がないと市内で差が出てきてしまうと思う。
- コ) 代表者の集まる場は現状ないのでしょうか。
- 市) 小学校区単位であるコミュニティではあるが、自治会単位ではないと思う。
- 参) 近隣の学生が地域活動に参加するという点で、高校生が地域と交流する場は、祭りや清掃活動くらいしかない。特に清掃活動は年に1回2時間程度しかないため、もっと増やしたほうがいいと思う。
- 参) 課題に対する解決策はそのとおりだと思う。大事なことはこれを誰が、いつするのが大事。これから議論をし、中身を詰めていく必要がある。
- コ) 我々が提言した内容を市のほうが真剣に受け止め、これを考えて頂ければと思う。
- 参) 自治会の加入率は地域格差がある。そのため事例発表が必要なのではと思う。また、若い単身者の参加の仕方（気軽に参加できる方法）を考える必要がある。
- 参) 同じように考えていることが多々ある。こどもが小さい時は参加していたが、大きくなると行きにくいものもある。地域活動に消極的な人も背中を押すリーダーがいれば変わると思う。
- 参) 最近、自治会の班会議によくでる。活動内容を説明されるが何を言っているかわからない。みんなの気を引く言い方をするよう工夫が必要。財源を回収するにも色々な方法がある。廃品回収はお金になるので、段ボール・雑誌は市に出すのではなく、自治会に出すよう促すなど工夫が必要だと思う。
- 参) 自治会の班長をやっている。班長としての仕事は、あまり強制されることはなく融通が利く。自治会では公園の掃除をやっている。その結果、子どもが安心して公園を利用できる。これは自治会があることのメリットだと思うが、自治会に入らないとわか
- 参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

らないことなので、もっと広めるべき。

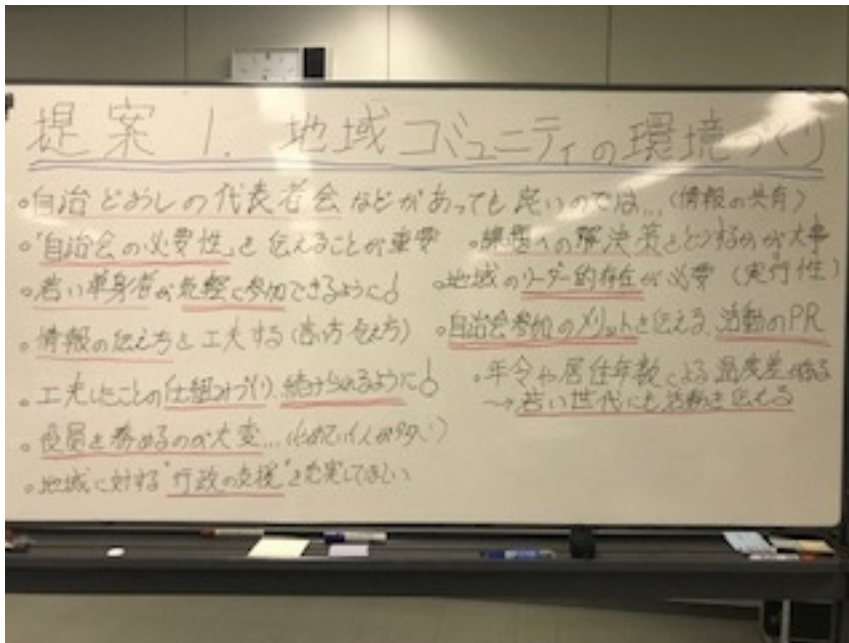
また、単身者はお金だけもらうなどハードルを下げるのはどうか。

- コ) 自治会がやってくれているが、あまり知られていないことはたくさんある。これを知らしめることが必要性の理解に繋がる。
- 参) 自治会の必要性を考えて終わりではなく、続けていく必要がある。また、転入の際など、必ずこの考えた内容を伝える仕組みをつくる必要がある。
- 参) どう実行するかが大事。2年後3年後に自治会の加入率がどれだけ増加するか楽しみにしている。
- コ) このテーマは成果指標がはっきりしている。成果指標として自治会加入率を追っていくことも大切。
- 参) 私は自治会に入っていない。地域の方と転入者の間で温度差を感じた。自分自身もほんとに自治会に加入する必要なのか疑問に思い自治会をやめた。周囲では自治会をやめた方が多い。しかし、市民会議に参加することで必要性がわかってきた。地域でのつながりが大切と思う。
- 参) この提案をそのまま出してもいいと思う。ただ、継続していくことが難しいので、繰り返しセミナーなどでの意識付けをすることが必要だと思う。そうすることで若い世代を教育していくのがいいのでは。
- 参) 途中でやめていく理由は、役員の当番制だと思う。役員は高齢者のお世話など大変な仕事が多い。
- 参) 市が行う地域のサポートとはなにか。具体的に教えてほしい。
- 市) 金銭的にはコミュニティに対して、一括交付金を交付している。以前は、文化なら文化、スポーツならスポーツと分けて交付していたが、一括交付金とすることで地域の中で自由に財源配分することが可能となっている。人的には参画協働課が相談に乗っている。仕組みとして、地域は地域の独力でやってもらう。
- コ) 情報の出し方、自治会のメリット・デメリットをわかりやすく伝える、そして知ることが大切。また、リーダーとなる人の人材育成が大切などのご意見を頂いた。課題はあるものの自治会の活動を活性化すべきとの考えは、みなさんそう大きくは違わなかった。いい方向で進めていくよう提案できたらと思う。

ホワイトボードの写真

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )



【提案2】高齢者が気軽に地域で活動できるような環境をつくる

【提案内容】

市)・川西市は南北に長い。駅前から離れたニュータウンなどでは近くに歩いて行ける施設が少ない。それによって、出かける機会が少なくなり、地域との交流が少なくなる。そのため、高齢者が社会と触れ合える環境をつくる必要がある。

【具体的な施策内容】

市)・豊明市の事例を参考に施策を考えた。

- ・民間企業はニーズに応じたサービスの開発を行う。
- ・この情報が高齢者に届かない課題がある。そこで、市がサービスの掘り起こしを行い、高齢者へ情報を届ける。
- ・高齢者はこのサービスを利用することで、社会と触れ合うきっかけとする。

【提案書についての意見交換】

コ) 豊明市は高齢者のための税金を使わない民間サービスの活用をした。このまちでも民間のサービスをうまく使い、税金を使わずにやれることを考えてどうかという提案である。

参) 豊明市のお話を聞いて思ったことは、足の確保が必須だということ。父が要介護状態になりそれを感じた。高齢者の免許返納も世間では話が出ているが、川西市は車社会なので、これから必ず足の確保が必要になってくると思う。健康な時から利用できる仕組みが大事だと思う。

コ) 豊明市のモデルでは民間企業の日帰り温泉の送迎バスを活用するというもので、一部の路線に限られており、市内全部を網羅することはできない。このサービスにより少しでも解決するというので提案していきたいと思う。

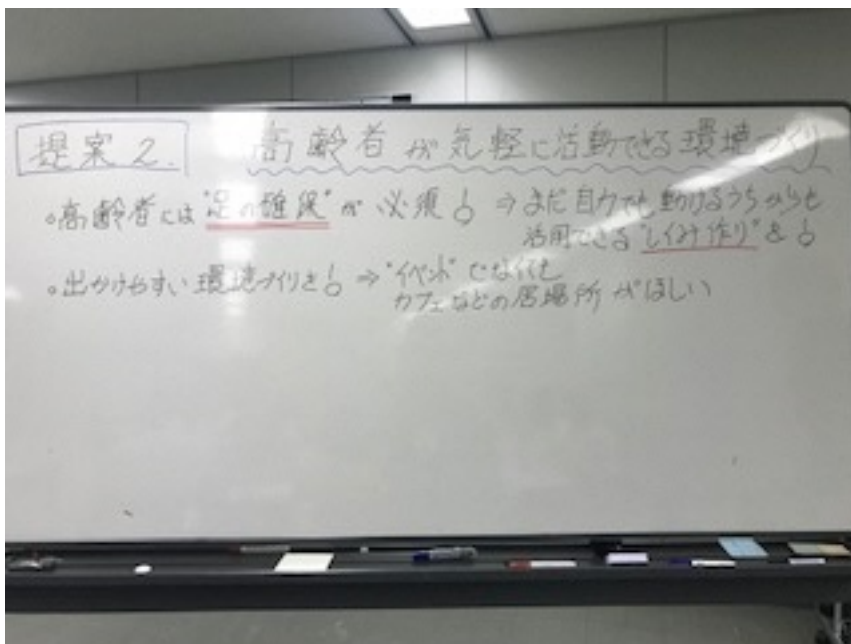
参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式 )

参) 川西市は高齢化率が高く、30%を超えているので、高齢者に優しいまちづくりが必要だと思ふ。どうしたら、高齢者が出かけるかと考えると足も重要だが、出かけやすい環境づくりが大切。それからイベントの提供と書いているが、イベントがなくてもふらっと行ける場所、コーヒーを飲む場所、雑談できる場所などが増えていけば過ごしやすくなると思ふ。

コ) 限られた財源や限られた人材で高齢者が過ごし易い環境をつくるには、地域や高齢者自身の力が必要である。新たな形で高齢者が活動できる環境をつくる提案を行う。

ホワイトボードの写真



【提案3】災害発生時にお互いを支えあえるような環境をつくる

【提案内容】

市) ・災害が発生時、行政がすぐに助けられるわけではなく、地域との助け合いが必要となる

- ・市民会議の中でも、地域交流が必要な理由として、災害時には支え合いが必要となるとの意見がまず聞かれた。
- ・そのため、上記のような提案をする。

【具体的な施策提案】

市) ・災害時には地域での助け合いが必要となるが、「十分に支え合う関係ができていない」という課題がある。

- ・そこで、地域をつなぐための防災活動を提案する。
- ・地域の役割としては、住民同士のつながりを生むような、防災訓練を実施する。例えば防災訓練を行うにしても、単に訓練だけを行うのではなく、炊き出しを行うことで、食事を取りながら、会話をし、交流を深めていくことができると思ふ。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

- ・市の役割としては、防災活動の支援を行う。また、地域と民間企業等をつなげる懸け橋となる。
- ・民間企業・学校は災害時には私たちと同じく被災者となる。普段から地域と一緒に防災活動に取り組んでいこうという提案である。

【提案書についての意見交換】

コ) 今回私たちの提案は、地域というところに視点を落としている。災害対策として地域でできることを提案している。

参) 川西市ではS Y S ( 災害時要援護者支援 ) の活動をしている。支援者と要支援者が明確になっている。しかし、名前を知っているが、お互いどういう人はわからない。そこで、防災訓練をしてはどうか提案したが、実現しなかった。折角こういうテーマで上げる以上しっかり対応してほしい。

コ) 個人情報の関係もあり、同意を取る必要があるなど、難しい部分はあるかもしれない。

防災マップは作成するプロセスが大切である。地域で話し合う中で、個々に配慮した、地域で支え合うような提言をすることで、課題をひとつ解決できると思う。

市) 東日本大震災での派遣で思ったことがある。災害後のインフラは脆弱で、避難所での生活は数か月、数年と長引くことを目の当たりにした。避難所生活をする中で、顔見知りではない人と共に生活することはしんどい部分がある。行政としてできることは、このような経験を持ち帰り、地域へ知らせることで危機意識を持ってもらうことだと思う。

コ) 派遣の話を地域で話す機会はないのか。

市) 現状はない。写真一枚で現地の悲惨さがわかるので、地域に知らせる仕組みが必要だと思う。

コ) 地域で災害の話を聞きたいと思わないか？

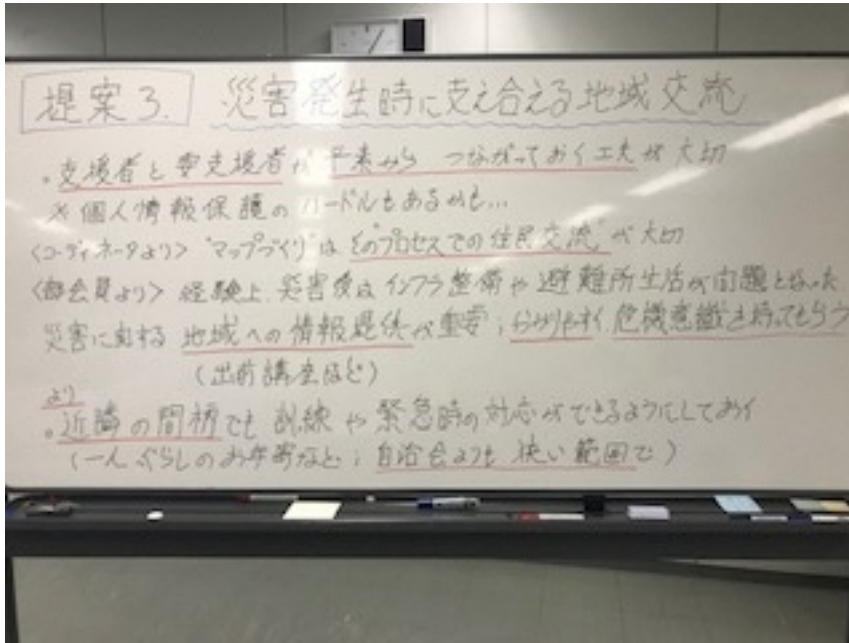
参) 地域の人が集まる場をつくるのが大変。

参) 「地域交流で十分に支える環境が整っていない」はまさにそうだと思う。近所の一人暮らしの高齢者がカギをなくし、家に入れなくなった。コミュニティ単位での防災訓練ではもれがある。もっと狭いエリアで助け会える関係をつくれたほうがよい。

ホワイトボードの写真

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )



【提案4】地域全体で子育てを支える、子どもを育てる土壌をつくる

市) 第3回の市民会議で待機児童の話題が出ていたため、地域活動という観点から子育てに関する提案を考えていたが、2班の「子育て教育の充実」に内容が重複するため、5班の提案書からはなくします。

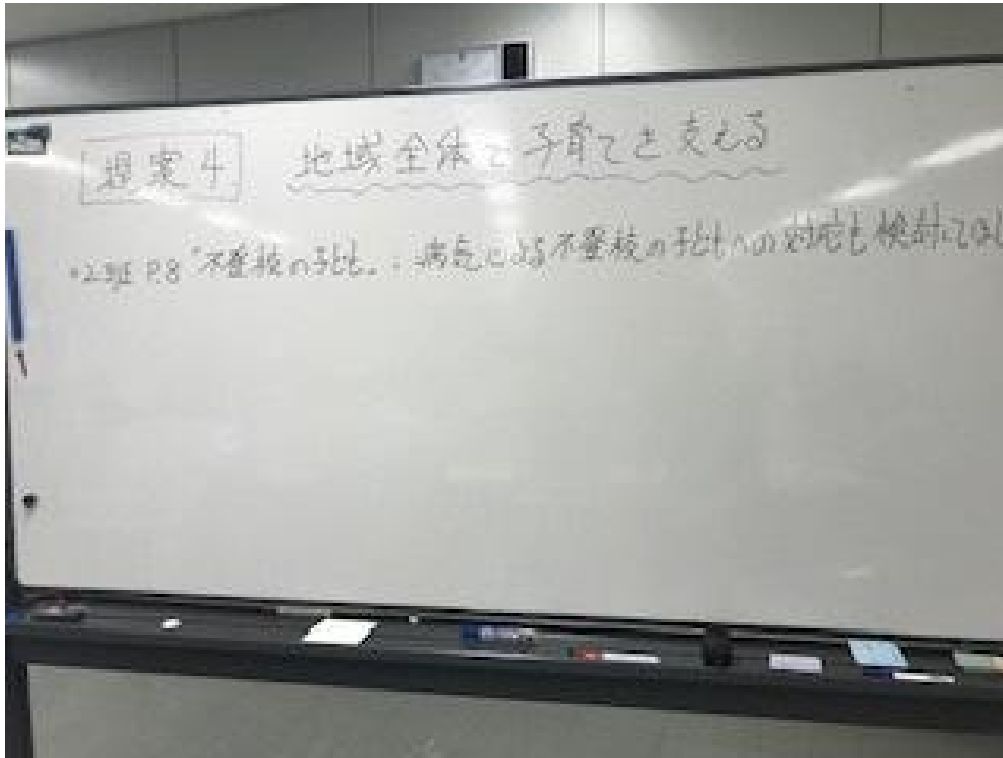
参) (2班の提案書を見て) 不登校はいじめだけが原因ではなく、病気で教室まで行けない子もいる。そういった子供に対して、どう取り組んでいくかが重要だと思っている。他の班にも伝えてほしい。

市) 提案書に入れ込めるか確認をする。

ホワイトボードの写真

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )



【提案5】地域活動の情報を集約し、誰もが手軽に情報を手に入れることができる仕組みをつくり、地域交流を促進する。

【提案内容】

- 市)・市民会の中でも、必要な情報が必要な人に届いていないとの意見が多くでた。
- ・自治会やコミュニティは活動の内容を発信しているが、あまり知られていない。
  - ・地域の各団体の情報を集約し、誰でも必要な情報を手軽に手に入れる仕組みをつくる必要がある。

【具体的な施策提案】

- 市)・地域・民間企業・学校は持っている細かな情報も配信する。
- ・行政の方で地域のイベントや口コミ、ボランティア情報など情報を集約する。
  - ・この情報を単にオープンにするだけでなく、プッシュ通知などを活用し、受け身でも情報を入手できるような工夫を行う。
  - ・また、インターネットを通し、やってほしい人とやりたい人のマッチングを行う。

【提案書についての意見交換】

- 参) こういったサイト等の作成や運営は、民間企業に委託するとお金がかかる。子育てのために仕事を辞めてしまったお母さんや、高齢者の方などの人材を生かしてはどうか。知識はあるのに活かしていない人が集まってサークル感覚で活動できるといいと思う。
- コ) 人材バンクなどの方法もありますね。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者



( 様式 )

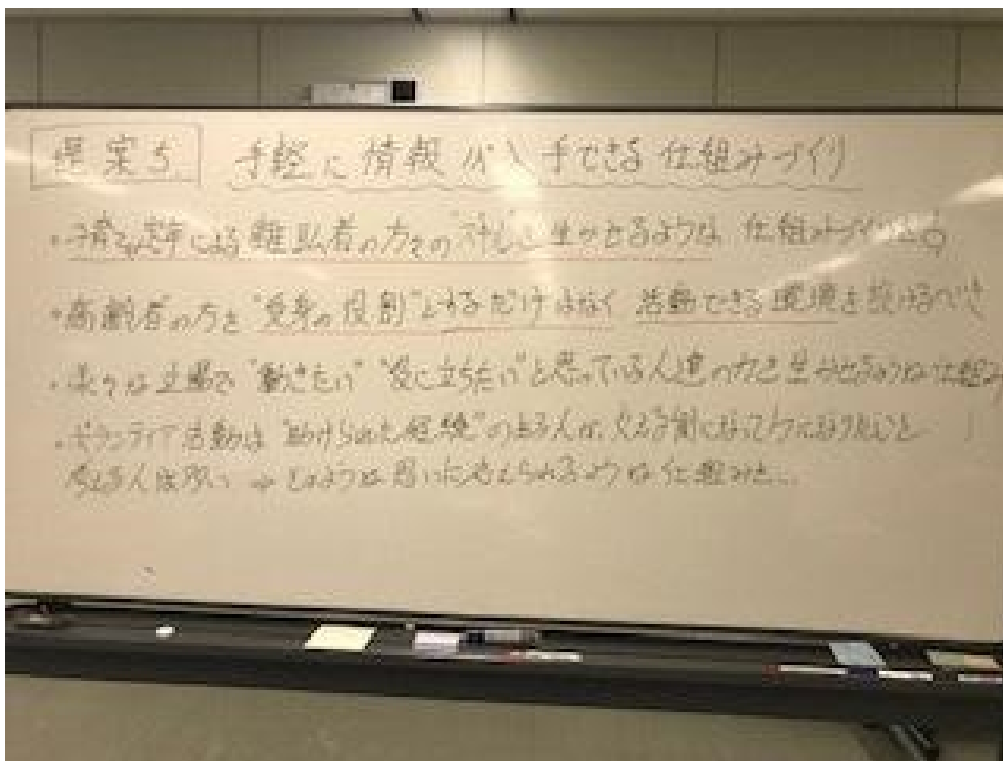
参) 高齢者が受け身の形になっている。ノウハウを生かし、高齢者の活躍の場となるような提案をしてほしい。

市) 高齢者の働く場の話は1班でも提案されている。大事な問題提起だと思う。

参) 女性起業セミナーに来ていたのは50代が多かった。親の介護や結婚を理由に仕事を辞めた人も多かった。参加されていた方は、今までの経験をどう活かすかということを考えており、働きたい、社会に役立ちたいと思っている人が多かった。自分で事業を始めるのはなかなか難しいけれども、1班の提案のようなマッチングなどができれば、活用できると思う。

参) お弁当を作って、毎週水曜日に届けるサービスのボランティアに参加した。ボランティアをしている人の中には、元々宅配サービスを受ける側の人もいた。高齢者の方も特技を活かし、ボランティアに参加しており、高齢でありながら地域活動に参加できることはすごいことだと思う。また、毎週宅配することで生存確認や地域のふれあいに繋がると思う。

ホワイトボードの写真



#### 次回の会議に向けた準備

次回の会議の目標

次回 11月30日は全体会のため、このような形で集まらない。みなさんから頂いた意見を行政側がどういった形で実行するかという案をみなさんに示す会となる。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

次回の会議に向け準備する資料等

特になし

備考 ( その他、記録すべき事項を適宜追加 )

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者